



E-mail: office@npo-parler.com パルレHP: http://npo-parler.com/

代表理事あいさつ 熊谷 恵美



パルレ会員の皆様、ご支援くださる皆様、やっと秋の気配が感じられるようになりました。大変な暑さの夏を乗り越えてお元気でお過ごしでしょうか。体調にお気遣いくださいませ。

さて、私どもが品川区から委託を受けております「ら・るーと」事業は、皆様のご要望にお応えしつつ多くのご相談をお受けしております。そして初回面談で「どこでこちらを知りましたか？」と伺うと、区内の子育て／若者支援関係者、学校関係者、地域の小児科、ママ友などのお知り合いに「ら・るーとに行ってみたら、と言われました」というケースが、このところ増えていることに気が付きました。

お子さんが、学校に行かなくなった、家や学校で対応に苦慮している…、発達障害かもと指摘されて保護者の方がパニック…、そんな時の身近な相談先として地域の皆様に浸透していることの証では、と手前

みそですが、そんな風を感じています。今日もどこかで「ら・るーとに行ってみたら」という会話がされているのかも、と想像すると、大変ありがたいことだと思っております。

もちろん、「ら・るーと」で相談しても、すぐに今困っていることが解決する「特效薬」はありませんが、「とことん寄り添いますよ」という姿勢でどのスタッフもご相談に乗り、支援をさせていただいております。

それも、パルレを支えてくださっている会員の皆様、ご支援くださる皆様、関係機関の皆様のおかげです。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



ら・るーと活動報告

2024年度第3回啓発講演会 8月24日 オンライン
当事者と一緒に考える発達障害 自分らしくHAPPYに生きるとは
講師：綿貫 愛子氏（臨床発達心理士、学校心理士、公認心理師）

アンケートより

発達障害のある人のウェルビーイングな暮らしをテーマに、当事者であり、公認心理師でもある綿貫愛子さんをお迎えし、お話を伺いました。講師の豊かな感性と深い専門知識に、参加者の方々から多数の共感の声が寄せられました。

■ご家族・当事者の方の感想

- 当事者および支援者の目線に基づいて話が展開され、非常に興味深いと感じました。「本人の発達特性を変えようという支援は、絶対にうまくいかない」という一節が心に響きました。発達特性や発達障害についての講演会は、今後も聴講したいと考えております。（当事者）
- とても良かったです。支援者の方の話は、とすれば上から目線になりがちですが、当事者の目線からお話されているのが、良かったと思います。人はみんな違って当たり前なのに、定型発達と発達障害とラベリングするのもなんだかなあと思うこともありますが、名前をつけて分けることで楽になることもありますものね。グレーな存在で、ずっと生きづらさを感じて生きてきた者のひとりごとです。（当事者）

- 発達障がいのある自閉スペクトラムの特性をはじめ、生き方、重要な点などを具体的に総合的に学べた、自身に役立つ、当てはまる点も多く、自分らしく生きるための大変有意義な講義であった。（当事者）
- 大変貴重なお話をありがとうございました。娘の言動で理解出来ないことが色々あったのですが、先生のご説明で理解が進みました。今後の参考にさせていただきます。
- 説明や具体的な用語を通して、自分を知るきっかけにもなりました。

P2に続く▼



誰のための何のための支援なのか、は普段も疑問に感じる
ことがあるので、その感覚は大事だと思いました。
紹介されたサイトやリンクもこれから見てみます。
また、どこか自分と似たニオイのする人たちとの遭遇、というフ
レーズ気になりました。

- とても勉強になりました。ずっと感じていた違和感をはっきり言
語化していただけたように思います。綿貫さんの話し方が分かり
やすくすぐに頭に入ってきましたし、たまに出る本音のようなも
の本当にそだよな〜と頷きながら拝聴しました。今回のお話
を今後の生活の中に生かしていこうと思います。

■支援者の方の感想

- 未就学児の療育をしているため、本人ではなく保護者の希望が
アセスメントに反映されるため「～ができるようになる」などの
目標設定が多いです。年齢的にもその目標も必要なことかもし
れませんが、子どものキャリアを保護者と一緒に考えることも
大切だと感じました。また、綿貫さんが診断を受けた時にネガ
ティブにならなかったのは自己理解ができていたからだという
お話を伺い、自己理解や自己肯定感の大切さを感じました。療
育に通っている子どもたちが自分の特性に気づき理解した時、
ポジティブな気持ちを持ってほしいと思います。そのため
に、保護者や支援者のための支援になっていないかという視点
を常に持ち、本人の好きな事や得意な事をたくさん見つけてあ
げられたらと思います。綿貫さんの実体験に基づいたお話、と
ても勉強になりました。(保護者)
- すばらしい講演会ありがとうございました。イヤー、何か私の支
援は自分中心で支援していたのではないかと考えてしまいました。
みんなを定型発達症候群に合わせようとしているのではないかと
思いました。確かにASDの人は、ASDの人とはコミュニ
ケーションができる。ADHDの人は狩りがうまい。なんか私
は、学校という狭い中での支援を考えていたのかもしれない。
もう一度、支援について考え直してみたい。まだまだ、学ぶこと
がたくさんあると思いました。(教育)
- なぜなぜルールブックが大変わかりやすく、購入して持ってい
たので講義を聞いて、より理解ができたと思います。言葉の
端々に当事者として感じてこられたことが垣間見られて、それも
良かったですし、最後にこのしゃべり方は幼少期からで、と話
されていたことと、復讐している(笑)とおっしゃっていたのも、
とても面白かったです。ポジティブに復讐されていて、共感
と同時に、すごいなあという気持ちになりました。睡眠の話も
裏付けを知ることができて、広く知ってもらいたいと思いまし



たし、納得しました。具体的に役に立ったという検査機関や
眼鏡屋さんなどの説明も参考になりました。また、居場所、
の記載があったのがとてもよかったです。ネストジャパンし
か知らなかったのも、ほかにもどこにどのようなところがあ
るのか知りたいと思っていました。情報量がとても多かった
のですが、充実した時間となり、支援の軸を改めて振り返る時
間になりました。(教育)

- 保護者であり、支援者でもあります。親として、そうそう!と共
感できる部分と支援者として学びとなることが多くありまし
た。
親として子どもに接する方向性と、支援者として考えるべき視
点の両方を学ぶことができてとても良かったです。本人のあり
たい姿、抜けていた視点だと思いました。(耳が痛い、...)
(保護者)
- 最後の回答で「クレバーに」と言っていました。私もそうあり
たいです。全体を通して、とても楽しい講義でした。楽しいと
いうのは、笑顔になるポジティブになる気持ち、という意味
です。(当事者)

■その他の方々の感想

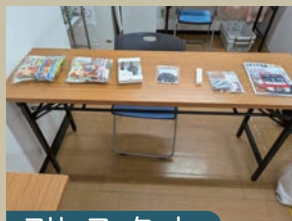
- 支援のあり方を根本から問うような内容と思いました。支援
に携わる方々がどのような感想を持たれたか、次回のパルレ
新聞を楽しみにしたいと思います。(区議会)
- 年齢を重ねるごとに相手の価値観をわかろうとする気持ちが
低下して、つい自分の価値観を押し付けることが増えてい
ました。
相手がどんな人であろうとラベルを貼らず、”その人”として
相対していくことの大切さを教えられた気がします。この気
づきを今から活かせるように、頑張りすぎずに頑張りたく
いと思います。(テーマに関心がありました)

7月～9月のら・るーと本人支援活動

デイタイム



夏休みイベント

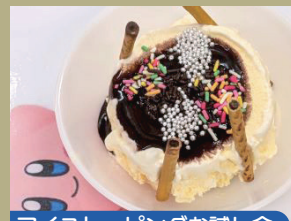


フリーマーケット

ソーシャルクラブ



かき氷



アイストップピングお試し会

発達特性の理解と対応 ステップアップ講座2024 (全3回) 第1回 9月7日(土) オンライン
特別支援教育とは何か一脳機能の視点から考える支援の基本
講師: 上原 芳枝氏 (臨床発達心理士 NPO法人リソースセンターone代表理事) アンケートより

発達障害の特性理解をさらに深め、現場での具体的支援を学ぶ、支援者向け連続講座です。主に幼児期～学齢期のお子さんを中心に、集団における「不適切な言動」が起きる要因と、要因をふまえた具体的対応を学びます。上原先生は、より伝わるようにと毎回テキストを練り上げられておられます。今回のレジュメも一段とわかりやすくなり参加者の方々のご理解が一層深まるものと、スタッフは感謝しております。

■支援者の方の感想

- 今まで聞いてきた内容と違っていることもあり、多少混乱したが、一つ一つのお話の説得力があり、もっと詳しく聞いてみたい。(中学校・特別支援)
- 冒頭の「わざとよくないことをすることは、本人にとって何の得にもならない。きちんとやりたいとできない事情がある」ということを実感したばかりだったので、対応について強く学びたいと思いました。(小学校・特別支援)
- 上原先生の研修(神奈川幼稚園協会)を初年度から受け、テキストを買い、私の働いている園でも少しずつですが、受け入れられてきて、今年度はテキスト購入者が20名近く!!「たった一人のみかた」になれるように生かしていきたいです。上原先生が大好きすぎる私です。(保育園)
- 児の状態がこうだからこういう支援を行う、ということだけで、何故それを行うのかをわからないまま、わからないことに疑問を抱いたまま、支援活動を行って来ました。その根本原因について、初めてアプローチしてくれる方に出会った気がします。次回も大変楽しみです。(小学校・特別支援)
- 今日はありがとうございました。発達障害の線引きをしないところが、私も10年以上勉強してきて共感しています。また診断は医師の視点により変わるというのはなるほどと思いました。また、水面下での目立たない支援がまだできていないし、難しさを感じます。2年目の受講で上原先生のおっしゃっていることがだんだん理解できつつあります。現場ではまだまだですが、引き続き、勉強させていただきます。(保育園、幼稚園、小学校特別支援)
- 何年か前に上原先生の研修会に参加した時、「支援だと思っている事は、支援ではなく、失敗した支援の後始末だ」と言われ、「えっ?そうだったの?」と、衝撃を受けました。そして職場の仲間にも伝え、今やっていることは失敗した支援で、やっていることはただの後始末ではないかと、皆さんで振り返るようになりました。たったそれだけの事でも、私たちの支援に対する意識が変わったと思います。今回は、当時力不足で理解できなかったことを、一つだけでも理解できればと思って参加しました。(福祉)
- 上原先生は「自ら前に進もうとする姿勢を育てることが重要で、それを実現するためには、現場の支援者の観察眼と分析力による対応が必要。」と話されていたので、基礎知識を習得して実践に臨みたいと思いました。今後2回ある講義において、要因と支援の方程式の具体的な講義をしていただけたことですので楽しみにしております。(小学校・特別支援)

- 2次障害の子ども(大人)たちと関わっていますが、本人も周りも苦しみ、関係者たちも膨大な時間を使って対応に追われています。小さい頃にこの特別支援に合っていたら、という思いを強く持ちました。それでも子ども(大人)たちの中には、前を向いて進もうとするエネルギーが見られる時があります。14歳まで心の核ができなかった場合でも、試行錯誤しながらその子に合った支援を続けていくことが大事なのでしょうね。上原先生の熱意が伝わり、わかりやすく拝聴できました。次回が楽しみです。(福祉)

■行政機関の方の感想

- 大変勉強になりました。何度も受講させて頂いているのですが、日々の業務の中で昔の価値観が顔を出しがちになるため、自身へのリマインドも含め、継続して受講させて頂くようにしております。
- 私も常日頃WISCの結果で得意不得意が分かったところで、例えば「では、どうしたらこの子を離席させないように出来るのか?」ということの改善とどうつながっていくのか、を疑問に思っていました。脳機能の未発達を要因とする考え方を拝聴して目から鱗が落ちたような思いです。今後活かしていきたいと思います。次回が楽しみです。

■保護者の方の感想

- 子どもの困った言動の要因に、どのようなものが考えられるのかを知りたいと思っていました。その想定要因を次回さらに詳しく学べると思うので楽しみです。上原先生の経験に基づくお話にはどれも納得感がありました。我が子の学校の支援体制も現状では点のつながりであると感じていて、とても残念です。私は保護者の立場ではありませんが、もっと学びたいと思いました。
- 内容がとても濃かったので、1回では理解が及びませんでしたが、配信だったので、3回聞かせていただくととてもわかり大変ありがたかったです。「10歳までは事なかれ対応」「心の核を作る」そのための周囲の対応や、特別支援の在り方、新鮮なお話にも目からうろこで、特別支援のモヤモヤが晴れました。この支援方法は発達障害の支援になくてはならないもの、インクルーシブな教育環境を整えるうえでも欠かせない考え方だと思いました。上原先生のお話が何えて本当に良かったです。2回目3回目も楽しみにしています。



パルレ活動報告

子育てピアトーク

9月21日(土)大井町事業所にて、子育てピアトークを行いました。第9回のトークテーマは「**教えて!ストレス解消法**」。つつい溜め込んでしまうストレス。上手にリフレッシュして、明日への元気をチャージしたいものですね。今回参加者は1名だったた

め、事前にご相談し、時間を縮小したミニピアトークを行いました。ストレス解消法にとどまらず多岐にわたるお話で盛り上がり、あっという間の1時間でした。次回のピアトークは12月21日を予定しています。ぜひご参加ください。

今後の予定

パルレ会員 は、パルレの会員の方限定です。
要申込 は、申込が必要です。
★は、どなたでも参加できます。
申込先メール: moushikomi@npo-parler.com

【パルレ】 予定が変更になる場合があります。パルレMLでご確認を。

■パルレヨガ 大井町事業所 **パルレ会員 要申込**

11月2日(土)・12月7日(土) 14:00~15:30

◇講師:三澤 美奈氏(ヨガセラピスト) ※初回無料

◇参加費:各回 大人1名 1,000円または家族で2,000円

■パルレで話そう ボランティアセンター 住居棟 1003号室

11月13日(水) 14:00~16:00 (開始時間を変更しました)

◇参加費無料 ※今年度も隔月で開催いたします。 **パルレ会員**

■子育てピアトーク 大井町事業所 **要申込**

12月21日(土) 10:30~12:00

※パルレ会員優先

◇会員無料、非会員500円

■パルレ学習会「子どもと大人の発達障害」 **★要申込**

"好き"と上手につきあうには? (仮)

2025年3月8日(土) 14:00~16:00

◇講師:本田 秀夫氏(信州大学医学部子どもこのころの発達医学教室教授)、手島 将彦氏(産業カウンセラー・音楽学校講師・文筆家)

◇会場: **オンライン**会議室Zoom

【よかりんく】大井町事業所

■ボードゲームクラブ **第1水曜日**

■Switchクラブ **第2、第4水曜日**

■将棋倶楽部 ■鉄道クラブ **休会中**

(活動は、今後の感染状況により、変更になることがあります)

寄付のお願い

「よかりんく」は、発達特性のある青年の余暇支援活動です。青年の支援は就労目的が多いのですが、パルレは、「余暇をもっと大切に」と考えております。東京都保健福祉財団の助成金で開始しましたが、現在は助成期間が終了しております。

よかりんく継続のため、みなさまからの暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。HPよりご寄付を受け付けております。

寄付連絡フォーム
QRコード▶



【ら・るーと】

■2024年度 第4回啓発講演会 **★要申込**
発達障害のある子の保護者のメンタルヘルス
-保護者と支援者に向けて

発達障害のある子どもたちが健やかに育つ上で、保護者のサポートは大きな力になります。しかし、日々のストレスや不安、社会的プレッシャーなどが重なり、心理的負担を覚える保護者は少なくありません。発達障害支援において保護者のメンタルヘルスの維持はとても重要なテーマなのです。そこで今回は、専門家として多くの臨床経験を持つ佐々木康栄先生をお招きし、保護者の心のケアについてお話を伺います。保護者の方にも支援者の方にも聞いていただきたい、大切なメッセージです。

12月8日(日) 14:00~16:00

◇講師:佐々木 康栄氏(よこはま発達相談室・臨床心理士)

◇会場: **オンライン**会議室Zoom

◇資料代:無料

◇定員:100名(当日参加)

/150名(後日配信のみ)

※満席になりました ※後日配信あり



■ペアレント・トレーニング **★要申込**

中田 洋二郎氏(立正大学名誉教授)

◇会場: **オンライン**会議室Zoom ※品川区民・対象年齢有り

2期 土曜講座 10:00~12:00 ◇資料代:1000円×6(初回一括)

2025年 1月11日 / 1月25日 / 2月8日 / 2月22日 /

3月8日 / 3月22日

ら・るーとホームページのアドレスが
新しくなりました

お気に入りやブックマークなどに登録されている方は、お手数ですが変更をお願いいたします。

新アドレス: <https://www.rarut.net/>